



事務所通信

全国組織にまで発展した FAXニュース作成代行 株式会社FAXコミュニケーション

大阪府大阪市

顧問先へのサービスとして事務所ニュースを提供したい、でも作成する手間と時間がない、という多忙な人のために頼りFAXコミュニケーションはFAXニュースの作成代行を行っている。「もともとは私自身の顧問先へのサービスとして」と、同社代表の三輪厚二税理士がFAXニュースの提供を始めたのは平成6年のこと。当時の配信件数は自身の顧問先と金融機関を合わせおよそ50件。知り合いの税理士に見せたところ「うちが第1号として使いたい」と話が進展し、他事務所への提供がスタートしたという。

今や、同社のFAXニュース「READAS」(リーダアスクラブ)を利用しての会員事務所の数はおよそ100件。仮に1事務所の配信件数が30件とするなら、読者数もさつと3、000人に膨れ上がったことになる。

驚くべきことに「READAS」は土日・祝日を除いて毎日、配信される。前の週に1週間分が経過して届けられるので、会員事務所では、所定の位置に

事務所名を記載し、顧問先などに向けて月曜から金曜の毎日、FAXで送信すればいい。顧問先に対し、自事務所のサービスとして提供できるわけだ。

最近のテーマは例えば次のとおり。

- ・課単位で行なう新年会費用 (1/8)
- ・サラリーマンの康楽料収入と確定申告 (1/7)
- ・家族名義の預金も相続財産? (1/6)
- ・償却資産税も実地調査強化 (1/5)

・社会保険診療と自由診療の経費区分 (12/27)

など、身近でタイムリーな税務知識がQ&A方式で解説される。「税理士には税金について国民に分かりやすく教える使命がある」(三輪氏)というのが同ニュースの編集方針だ。

サイズはA4判で1シート。必ず4



三輪厚二氏

「READAS」の使い方

ここに事務所名を入れる

右半分はマンガで
分かりやすく説明

税務の情報を
1日1テーマ

毎日 A4判1枚

コマ漫画が掲載されるのがミソである。「当初は文字だけでしたが、なかなか読んでいただけなかったので、半分は漫画にしてほしい」という要望があつて、そうしました」と三輪氏は説明する。

このサービスを受けるには入会金3万円。あとは月々1万円が必要。また同社は一方で、経営ニュース「TEAR ASCULUB」(テラスクラブ)の提

供も行なっており、こちらは船井総合研究所取締役の三上元氏執筆のウィークリーニュース。費用はリーダアスクラブと同じ(ただしリーダアスクラブ会員は入会金をなし)。

なお現在、リーダアスクラブは有志で「10人の会計人からのアドバイス」(滑文社刊)などの共同執筆活動等を行なう組織にまで発展している。

事務所通信
3つのポイント

- 1 自事務所のFAX通信を他事務所に提供
- 2 読ませる工夫として、4コマ漫画も掲載
- 3 会員同士で研究活動等のネットワークを組織

事務所データ

- 開業 平成5年
- 職員数 4人
- 契約先数 法人30件